

こんにちは、虹色通信(なないろつうしん)です。

こんにちは、いつもお世話様です。虹色通信(なないろつうしん)です。もう5月になりました。今年のゴールデンウィークは皆様、どう過ごされましたか？我が家は特にはないですが、お弁当を持って、長門牧場に行って参りました。やはりゴールデンウィーク、人ばかりでした(笑)私、駐車場しか停めた事なかったのですが、入口近くの道路に停めたのは初めてです(笑)でも快晴の良いロケーションの中で食べたお弁当は、格別のものでした♪(笑)

さて24回目のお話を始めたいと思います。今回は「水回り商品」についてお話したいと思います。

水回り商品って聞きますと、皆様は何を想像されますか？水と付いているんだから、その関連の事と思われませんか？水回り商品と言われているのは、お風呂・台所・トイレ・洗面所に関連している商品の事です。この関連の商品は、住宅の中でもポイントの一つになるものですし、特に奥様の関心の高い商品だと思います。水回り商品は、時代の流れの生活変化と共に、目まぐるしい進化を遂げています。今回・次回は、その最新機能を一例として、ご紹介したいと思います。

まず、浴室についてお話したいと思います。昔の浴室と言えば、古くは風呂桶が置いてあるというイメージでしたが、私の子供の頃にはタイルを張った浴室でした。風呂桶は鉄製の風呂釜に変わり、薪(まき)を炊いて下から暖める風呂釜は、本当に暖かいものでした。

日本の高度成長化に伴い、浴室も製品化されるようになりました。弊社でも、平成になってから、ユニットバスを施工するようになりました。我が家も11年前に施工しましたが今と違い、バリアフリー(床と床の段差がない事)ではなかったのです。今は常識ですが、当時は段差がある事が当たり前でした。余談ですが、和室と他室は30ミリの、トイレは他室と60ミリの段差が当たり前でした。

話がそれましたが、現在のユニットバスの現状をお話します。今回は松下電工さんを例に挙げてお話します。昨今のユニットバスの保温性は優れたものです。写真1・2のユニットバスは、松下の冷蔵庫に使われてる断熱材を浴槽の周りに張り、6時間で2℃しか下がらない保温性だそうです。他メーカーの中には、壁パネルに厚い断熱材を張り、浴室内自体を保温するという考えもあります。それと、小型の空気清浄機を換気扇と連動させて、カビの発生を防ぐシステムの装置も標準で付いています。この空気清浄機は、水をイオン化して空中に飛ばし、それでカビ菌を包み、換気扇で排出します。浴室はどうしても密室なので、カビが発生しやすく、それを防ぐ画期的な装置だと思われませんか？また、換気扇も暖房機付で、雨の日には浴室を乾燥室代わりに使用できます。

また写真3は、昔の風呂桶をイメージした「置き浴槽」を採用しているモデルです。手前にすのこも敷かれています。写真4は通常の1坪サイズの浴槽より一回り小さい、0.75坪の浴室ですが、浴槽が斜めになっていて、狭いサイズでも足が伸ばせて入れます。いろいろなお風呂がありますね。今回はお風呂でしたので、次回でシステムキッチン・洗面台・トイレ等をお話したいと思います。



写真1



写真2



写真3



写真4

M-ONE HOME

集い(つどい)

(株)モリケン

TEL:(0268)68-2225 FAX:(0268)68-2196 森田携帯(090)2215-8356

URL: <http://www.moriken-motto.com> E-mail: mail-info@moriken-motto.com